

日頃の教育に対する工夫・今後の教育への抱負

黒岩 丈介（ロボティクスコース）

今年も優秀教員に選出され、光栄に思っているとともに、今まで以上に学生に対して教育的貢献をしていかなければと、身の引き締まる思いです。現在担当している学部の講義科目は、以下です。

- 応用数学 B（2 年前期、必修）
- 解析力学（1 年後期、必修）
- コンピュータ演習（物質・生命化学 1 年後期、選択）
- 応用電磁気学（2 年後期、必修）
- 自律システム（3 年後期、選択）
- 機械・システム工学科概論 II（1 年後期、必修、全教員分担担当）

その他に、大学院前期課程の講義として脳情報学（前期）、及び大学院前期課程の講義として人工知能特論（後期）を担当しています。

今年度は、COVID-19 の影響もあり、4 月からの講義全てがオンライン化を求められ、4 月の講義を実施出来ない期間を利用して急遽応用数学 B の 14 回分の講義ビデオを撮影・作成し、Youtube を利用して WebClass 教材としてオンデマンド形式で公開しました。その際、単に講義風景をビデオ撮影しても自分が面白くなく、またきっと見ている学生も面白くないだろうと勝手に想像して、空手胴着、野球のユニホーム、スキーウェア、バドミントン、テニス、釣り師の服装等、様々な服装になって講義ビデオを撮影しました。また、それだけでは面白くないと、必ず前振りを入れて、コントを試みたりしました。さながら、Yutuber になった気分です。学生からも思った以上に好評で、「後期のビデオでも是非、色々な服装になって、前振りもやって欲しい」と言われました。こんなことで、講義を受けるのを楽しみにしてもらえたらお安い御用と意気揚々としていたのですが、いざ後期のビデオを撮影する段になって、どんな服装にしようかな？と思案しても、良いアイデアが出てきませんでした。所詮、ただの普通の大学教員ですから、そんなセンスは持ち合わせていません。段々考えるのも面倒くさくなり、結局解析力学と応用電磁気学の講義ビデオは、普段の講義のように撮影しました。それでも、1 年の学生からは、「普通に黒板を使った講義はやっぱ分かり易く受けるの楽しいです」と言った意見を聞き、学生にとっては黒板を使った講義はやはり良いものであると、再認識させられました。早く、普通の講義が出来る日が来ることを切に望みます。